



・がけからの水がにこる
・地下水や湧き水がとまる
・斜面のひび割れ、変形がある
・がけから音がする

がけ崩れ



・山鳴りがする
・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
・川の水がにごったり、流木が交ざる

土石流

・地面にひび割れができる
・井戸や沢の水がにごる
・がけや斜面から水がふき出す

地すべり



市が指定する避難場所

(1人当たり5㎡として計算)

避難場所	面積 (㎡)	構造	収容人員
納所小学校	体育館 616	鉄骨	約500人
	校舎 2,011	鉄筋コン	
東部中学校	体育館 1,410	鉄骨	約1,200人
	校舎 4,928	鉄筋コン	
南部小学校	体育館 985	鉄筋コン	約900人
	校舎 3,693	鉄筋コン	
西溪中学校	体育館 1,391	鉄骨	約1,000人
	校舎 3,583	鉄筋コン	
西部小学校	体育館 750	鉄骨	約600人
	校舎 2,334	鉄筋コン	
緑が丘小学校	体育館 1,096	鉄筋コン	約1,000人
	校舎 3,849	鉄筋コン	
体育センター	体育館 1,546	鉄骨	約300人
北部小学校	体育館 1,543	鉄骨	約1,500人
	校舎 6,280	鉄筋コン	
産業技術学院	体育館 576	鉄筋コン	約100人
救護施設しみず園	地域交流センター 151.69	鉄骨	約30人

※救護施設しみず園は、災害状況により要援護者を優先的に受け入れる避難所とする。
災害の状況により寒鷲亭、公民館、神社社務所、寺院、旅館、倉庫等を使用する。

家の周りや住んでいる地域に危険な場所がないか事前に確認しておくことも重要です。台風や豪雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができません。注意が必要なときは、天気予報やインターネットで新しい情報を収集しましょう。また、市では災害時に備え、各地区の公民館などを避難場所として指定していますので、あらかじめ自分の避難場所を確認しておきましょう。

地域の安全と安心のために 消防団員新体制・新制度

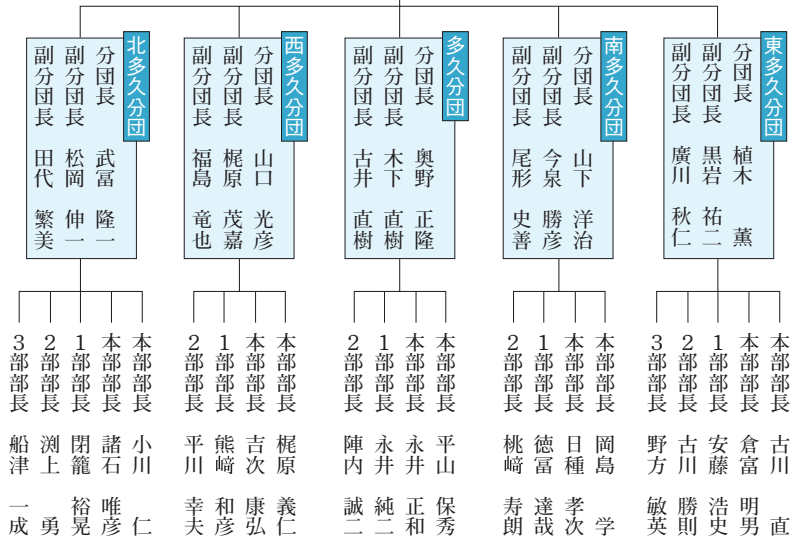


陣内団長

多久市消防団本部	団長	陣内 成和
	副団長	中村 清彦
	副団長	江口 清彦
	指揮隊長	吉田 連城
	指揮隊長	竹廣 喜友
	女性部長	諏訪智代美
	ラッパ部長	小柳 亮治

多久市消防団の組織

平成19年5月1日現在



新たな即戦力 機能別消防団員制度
近年、消防の常備化の進展、人口の過疎化、少子高齢化社会の到来や産業・就業構造の変化等に伴い、全国的に見ても消防団員は減少傾向にあります。多久市においても団員定数400名に対して378名と定数割れしています。就業形態の変化等により消防団員のサラリーマン化や市外勤務者の増大により、昼間火災の初期消火対応が

懸念されている南多久町および西多久町の地域に5月から3名ずつ機能別消防団員が配置されました。機能別消防団員の活動内容は、元の火災および地元で行われる防火訓練等、その他必要に応じ団長の指揮により消防活動を行います。



これからの季節 災害には十分注意しましょう



梅雨時から秋にかけては、大雨による水害や、台風での被害が予測されます。佐賀県の年間降水量は、1、500mmから2、400mmで、6月中旬から7月中旬にかけての梅雨時には、年間降水量の約1/3近い降水量が集中しています。地域別に見ると県南部の多良岳、国見山や中央部の脊振山系、天山、八幡岳などの山間部で降水量が多く2、400mmを超え、県北部の玄界灘沿岸では少ない状況です。

毎年、各地で土石流、地すべりがけ崩れなどの土砂災害が発生し、人命、財産に甚大な損害が発生しています。昨年の台風13号による唐津市や伊万里市（死者3名）の土砂災害による被害は記憶に新しいところです。

集中豪雨

集中豪雨は、梅雨の終わりがよく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は困難です。中小河川の氾らんや土石流、がけ崩れなど大きな被害が発生する恐れがあります。

土砂災害と雨量の関係

土砂災害のほとんどは、梅雨時や台風の時期に発生しています。1時間に20mm以上降り始めてから100mm以上の雨が続き続いたら土砂災害の危険が高く十分な警戒が必要です。

1時間降水量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ
10～20	やや強い雨	ザーザと降る
20～30	強い雨	どしゃ降り
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る(40mmで大雨・洪水注意報)
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る(60mmで大雨・洪水警報)
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある(大雨・洪水警報)

土砂災害は、発生すると大きな被害を引き起こします。大雨や長雨の時に次のような現象を確認したら早めに避難し、防災機関に連絡しましょう。

総務課 行政係

☎ 75 | 2 1 1 2

広域消防局 多久消防署

☎ 75 | 2 1 9 1